

ろっかしよ 議会だより



元気いっぱい 尾駈小学校の子どもたち

3月定例会

目次

6人の議員が登壇 一般質問 2

地域情報基盤整備に4億9千万円
老人福祉センター温泉施設改修も 9

入院時医療費中学卒業まで無料に 10

6人の議員が登壇

一般質問は3月11日に行われ、6人の議員が登壇しました。

質問は、福祉や一次産業、原子力行政など村政全般にわたり、活発な議論が展開されました。

《六ヶ所村ホームページ内の「議会情報」で、「会議録」を全文公開しています。ぜひ、「ご覧ください。》



高橋 文雄 議員

地産作物 もっと活用すべき

高橋（文）議員

中国からの輸入食品は、本村の学校給食では使用されていたのか。

古川村長

村と給食の委託契約を結んでいる三三五フーズ(株)に確認したところ、当村の学校給食は、中国製の冷凍食品は使用していないことがわかっている。今後とも極力使用しないよう委託会社に要請している。

高橋（文）議員

学校給食での地産地消の実績はどのようになっているか。

古川村長

地元の主要5産品の長芋、じやがいも、にんじん、牛乳、ヨーグルトについては地産地消の考えから、多くを学校給食へ取り入れている。学校給食の食材等は、安全・安心・安定した供給が不可欠であり、この点について、とうほく天間農協等にも協力をお願いしている。

高橋（文）議員

米は六ヶ所産か。



原子力防災万全を期せ

高橋（文）議員

避難場所の防災資機材の整備は万全か。

寺下学務課長

米、みそ、しょうゆ等については各市町村とも青森県の学校給食会にお願いをしている。それらは、県内産である。

高橋（文）議員

六ヶ所の野菜をもっと増やせないか。また、学校給食や福祉施設で使用する食材の作付けを農家に依頼したり、六ヶ所村産の作物を企業や寮などで使用してもらうことはできないのか。

服部産業・建設部門理事

農地が必要である。農業者と連携をとりながら進めたい。

古川村長

現時点では配備していない。住民の安心・安全のため今後具

体的に検討していきたい。

高橋（文）議員

検討というよりも早速実行しなければならぬと思うが。

小泉企画・防災部門理事

防護マスク等は、早速具体的な配備計画に入りたい。ただし、飲料水等ある程度期間がたつと交換しなければならぬものは、少し検討を要する。

高橋（文）議員

老人・障害者等が不自由を感じないで避難できる施設の整備がなされているか。

古川村長

避難場所についてはバリアフリー化を進めているが、十分とは言えない。今後計画的に進めていく。

高橋（文）議員

へリポートの整備が必要と思うが。

古川村長

現在村内では、大石総合運動公園、第一中学校、六ヶ所高校の3箇所と日本原燃(株)の再処理施設内にある。



インターネット関連施設 経済効果は

高橋（文）議員

国・県・村が一丸となって誘致合戦を勝ち抜いた施設建設であり、村民は経済波及効果を期待しているが、その成果と見通しはどうか。

古川村長

建設に伴う地域振興や工事資材の村内調達、地元雇用等を村議会とともに関係機関に要望している。

施設完成後は、海外を含む多くの研究者が定住するので、学術・文化面の効果は大きい。子供たちに良い効果が出ることを期待している。

研究開発には大学、産業界、研究機関との連携が図られることから、村がめざす、「人と文化を育み科学と産業がはばたく村づくり」につながると考えている。

高橋（文）議員

地域振興策としてのインフラ整備が急務と思われるが、国、県に対してどのような対策を考えているか。



古川村長

高速通信網のインフラ整備が重要である。

また、現在進めている国際化に対応した教育環境の整備、研究者がより研究に専念できるような施設の整備を要望していく。

高橋（文）議員

現段階の定住促進住宅の状況での外国人研究者受け入れの見込みは。

戸田副村長

人数の把握ができないため、対応が難しい状況だ。インターナショナルスクールの設立について県と詰めている状況で、はっきりした段階で議会にも報告したい。

障害者の自立支援を

高橋（文）議員

村では障害者自立のための支援対策を講じているが、自立のための仕事についてどのように考えているか。また、どのように支援していくのか。

古川村長

障害者基本法、障害者自立支援法に基づき、障害者の教育・訓練、社会参加を促している。

具体的には、かけはし寮でグリーン・ペアはまなすの温室を借り、花の栽培を行っており、その運営費の支援や、地域交流ホーム浴場の清掃、役場庁舎前花壇の除草業務などを委託している。

高橋（文）議員

村の委託事業の中で障害者雇用の枠組みを設定できないか。

久保福祉部門理事

今現在1名雇用している。障害者の社会復帰は初期には訓練が必要であるため、そのための対策を講じていきたい。

高橋（文）議員

障害者の受入先に対しての助成等についての考えはないか。

久保福祉部門理事

国や県の制度とともに村助成も検討したい。

飼料価格高騰への対策を示せ



岡山 勝廣 議員

岡山議員

自給飼料確保についての認識、考え方について

古川村長

バイオ燃料の導入によるトウモロコシ等の配合飼料の価格上昇や原油高など急激な社会情勢の変化で対応に苦慮している。

牧草については村営の採草牧場等から調達し、不足分は県内の酪農協から調達している。また、デントコーンなど飼料の作付けも行っている。

岡山議員

粗飼料確保に向けた飼料作物作付を拡大するため、新むつ小川原（株）所有の土地を利用した農地確保への取組みについて。

古川村長

遊休地の活用について、新むつ小川原（株）と協議し、検討したい。

岡山議員

時期的にはいつごろか。服部産業・建設部門理事
現在は、耕種農家にウエートを置いている。これから協議に入りたい。

スポーツ合宿施設 必要性感じる

岡山議員

スポーツ合宿の誘致によるスポーツ振興、経済効果についての認識、考え方について

古川村長

大学生等のスポーツ合宿誘致によるスポーツ振興、交流経済効果については十分認識しており、宿泊施設等受入体制の整備の必要性を感じている。

岡山議員

宿泊施設の不足に対する対策について

古川村長

昨年策定した長期事業計画の中で温水プール、室内トレーニング機器を設備した屋内プールの建設を検討している。今後、宿舍と併設が可能であるかを検討したい。

岡山議員

村の人たちが温泉を有効活用する意味でも、ろっかぼっかのそばに低額で団体でも泊まれる施設が必要だと思うが。

古川村長

基本的に同じ考えである。関係者と協議していいものをつくっていききたい。



高橋 源藏 議員

公共施設以外にも AED設置必要



古川村長

現在、役場や小中学校、中央公民館などに13台を設置している。20年度は両支所や残りの小中学校に配置する。今後も計画的に配置し、村民がAEDを効果的に使用できるよう消防署等による講習会などを実施したい。

高橋（源）議員

ろっかぼっかや銀行など公共施設以外の不特定多数の人が集まるところには設置しないのか。古川村長
尊い村民の命を守るのが基本なので、出来るだけ設置してもらえるよう働きかけたい。

高橋（源）議員

現在我が村では、自動体外式除細動器（AED）がどのくらい設置されているのか、また今後どのように設置を考えているのか。

余裕深度処分 取組状況は

高橋（源）議員

余裕深度処分について電気事業連合会の要請に基づ

き、地質、地下水に関する調査等が実施されてきたと聞いており、自分も現場を見学させていただいた。余裕深度処分に関する話が出てから長い期間が経っているが、電力、国の取り組みはどのような状況なのか。なぜ村への話がないのか。なぜ進まないのか。

古川村長

国では安全審査指針の策定や関係法令の整備に取り組んでいると聞いている。また、事業者は再処理工場の操業開始を最優先としていると聞いているので、操業開始後に何らかの進展があるものと考えている。村としても事業者は再処理工場の操業に専念するべきと認識しているため、余裕深度処分の話をする時期ではないと考えている。

高橋（源）議員

本格調査が終了したにもかかわらず、試験空洞内において大規模な試験を実施しているようだが、どのような試験を実施しているのか。

古川村長

国は、試験空洞を使用し地下処分型施設の性能確認試験を行っている。事業者は、現地施工の実証試験を行っているとしている。

違約金 なぜ発生

高橋（源）議員

2007年10月に県、村に要請のあった単一返還問題について、村長は受け入れに前向きで、法改正も踏まえ勉強会をしたい、等価交換については新たな判断が必要になるとしているが、私もその通りと思う。

古川村長

BNGS（イギリス原子力グループ）に対して、年内に諾否を回答できない場合は、日本の電力会社が違約金を支払うことになっているようだが、この違約金はどのような件で発生しているのか。また、それに伴って我が村の関わりはどうか。あるとすれば、どのような関わり方なのか。

確約書 信用できるのか

高橋（源）議員

県では議員の方々から条例の制定等を議論しており、また国、県の元幹部の方々から、過去の原子力行政を進めてきた経緯等が、新聞に毎日のように報道されている。村長はいままで各協定、また、国、県の公文書等が十二分に担保されていると思うか。それとも知事のように国の文書は重みがあることだと思っているのか。また別の捉え方をしていいのか。

古川村長

当時の科学技術庁長官からの確約書は重いもので、十分に担保されるものと認識している。

高橋（源）議員

「青森県の原子力政策」という冊子で立地基本協定等が掲載されているが、締結当事者欄で青森県知事・六ヶ所村または氏名の記入なしや内容に一貫性がないのはなぜか。

小泉企画・防災部門理事

内容については適切ではないと思う。一貫性がない記述になっているので、しかるべき対応をしていきたい。

スクールバスと給食センター 地元業者に委託せよ



木村 常紀 議員

木村（常）議員
平成13年第3回定例議会より、度々質問していることではあります。スクールバスの委託状況をお知らせ願いたい。
また、給食センターの地元業者への委託の考えはないのか。

古川村長

村内小・中学校で村所有8台（運行業務のみ）、六ヶ所高校は4台を業務委託している。

小・中学校の内訳は、六ヶ所地域振興開発（株）が4台、六ヶ所村旅客運送事業協同組合が3台、残りは村のバス1台である。六ヶ所高校は上北観光バス（株）が2台、六ヶ所村旅客運送事業協同組合が2台である。給食センターの地元業者への委託については、安全で安心できるものを安定して提供いただけるところを調査・検討している。

木村（常）議員

スクールバスの地元業者への委託はまだ何台か残っているが、なぜ早急にやらないのか。

寺下学務課長

村当局とよく協議をした上で対応したい。

漁民救済の決意を示せ



松本 光明 議員

松本議員
国では、小規模漁業構造改革促進対策を新規事業として盛り込んだが、小型いか釣船が適用にならないか。

古川村長

小型いか釣り船は適用にならない。

松本議員

税制措置としての漁業用A重油に係る石油・石炭税の免税措置等についてはどうか。

古川村長

A重油はすでに免税されている。

松本議員

村として小規模漁業対策をどのように考えているのか、今後早期の対策を講じていただきたい。

古川村長

県漁連の説明会の内容を踏まえ、今後漁協と協議を行い検討していきたい。

松本議員

村として漁民の救済対策についての村長の決意を示してほしい。

古川村長

国等の対策・動向等を見極めながら対処する。

泊黒岩海浜公園 駐車帯を整備

松本議員

北地区（泊地区）に人口の3分の1が住んでいるが、①道路整備②漁業③観光について、どのように進めていくのか、見通しをお聞かせください。

古川村長

①道路整備は、村道泊中央線を、平成19年度から平成24年度で電源三法交付金を使って整備する。国道338号は、東通村側からトンネル工事を行っており、一日も早く開通するよう国、県に対して働きかけていく。

②漁業面では、アワビ、ウニの種苗放流、ワカメの養殖に向けた調査を引き続き行う。沖防波堤の整備は今年度に県の予算で整備される予定。

③観光面では、物見崎灯台、たたみ岩など、住民や観光客に憩いの場を提供するため、「(仮称)泊黒岩海浜公園駐車帯整備事業」について、具体的な検討に着手している。

松本議員

泊白糠間の国道338号の駐車場整備を進めてほしい。

戸田副村長

地権者の問題、安全上の問題を検討しながら実現に向けて努力する。

砂採取許可は 県認可

松本議員

砂採取により泥水が流され、

また、砂の洗浄にも利用されているが、村がどのような許可を与えているのか。与えていないのであれば、今後どのような対策をとるのか前向きな対策を示してほしい。

古川村長

砂採取については、県が登録・認可し、指導監督している。

インターナショナルスクール誘致を



橋本 勲 議員

橋本（勲）議員

外国人子弟教育についての対策は、具体化しているのか。また、その組織体制やスケジュールなどは、どのようにしているのか。

古川村長

ITER関連施設研究者の受け入れには、子弟の教育環境の整備も重要と認識している。EUからも同様の要望があり、県も協議会を作りインターナショナルスクールの検討を行っている。先日教育長とともにインターナショナルスクールを視察してきた。

橋本（勲）議員

村にインターナショナルスクールをつくるという思いはないのか。

古川村長

できれば村に作りたい。尾駮小学校と連携した形で両方の特色を生かした教育ができればいいと思う。今、県と協議をしている最中なので、時間を貸していただきたい。

橋本（勲）議員

インターナショナルスクールを取り巻く環境として、弘前大学や東北大学とかの関わりは全くないのか。

小泉企画・防災部門理事
優秀な研究者を本村に呼ぶ

ためには、教育の充実が欠くことのできない要素だと思おうので、努力していきたい。

橋本（勲）議員

副村長はどういう内容で東北大学に行っているのか。

戸田副村長

村と大学の間の交流を深めさせる橋渡しをしたいと思っ出て向いている。積極的に大学の環境を村へ目を向けさせたい。

第3子以降に子宝祝金

橋本（勲）議員

子育て対策は、どんなことを主体に取り組んでいるのか

古川村長

第3子以降に子宝祝金制度等、他町村よりも充実している。

橋本（勲）議員

出生率は向上しているのか。

中村福祉課長
ここ数年は若干増えている。

橋本（勲）議員

給食費の無料化は考えていないのか。

寺下学務課長
大きな財源を伴うため、慎重に対応したい。

職員の健康管理は万全か

橋本（勲）議員

米田先生の職員に対する任務は、どのような内容になっているのか。

古川村長

千歳平診療所の米田所長は役場職員の産業医でもある。

橋本（勲）議員

現在体調不良に陥っている職員の数とその状況についてお知らせ願いたい。

古川村長

3月1日現在病気休暇職員は1名で、投葉やカウンセリングを受けている。

橋本（勲）議員

その原因は何か。どのような対策を講じているのか。

古川村長

生活習慣病や業務のOA化、人間関係によるストレスが原因と考えている。産業医からは職場環境の改善等のアドバイスを適時受けている。

橋本（勲）議員

能力のない者に負担をかけないように、適材適所の人事をやっているのか。

戸田副村長

適材適所の配置をしていると考えている。

橋本（勲）議員

米田先生のアドバイスは、十分に活かされているのか。

古川村長

受動喫煙対策や復職後の勤務制限、ストレス過剰職員に対する職場環境の改善などの助言を十分に生かして対応している。

高レベル廃棄物に課税せよ

橋本（勲）議員

原子燃料サイクル施設に対する税体系は、どのようになっているのか。

古川村長

土地、家屋、償却資産に対し、固定資産を課税している。低レベル廃棄物埋設施設、高レベル廃棄物管理施設、機械等に対しては償却資産として課税、廃棄物については、課税対象外となっている。

県では、法定外普通税として条例を制定し、平成5年度から核燃料物質等取扱税を課している。

橋本（勲）議員

村の再処理工場から出る高レベル廃棄物は、税法上の取扱はどうなるのか。課税対象外だとすればその理由は何か。私は交付金等よりも、きちんとした税の徴収が村の健全財政の基本と考えている。

古川村長

これまでと同様に対応する。

橋本（勲）議員

高レベル廃棄物について、県は課税対象にしないと報道されたがその辺はどうなのか。

戸田副村長

課税対象にはならないが、県または市町村等が法定外普通税、あるいは目的税等条例を制定したときは課税対象となるということで、県が平成5年から課税している。村から出る部分についても同様の考え方で対応できると考えている。

橋本（勲）議員

これから出る高レベルについても村は一切関係がないということか。

古川村長

県は、条例をつくって海外からの高レベル廃棄物に課税している。本格操業で出される高レベル廃棄物については現在の条

例にはないため、現段階では課税できない。これから安全協定等を締結していく過程でそのことも議論していく必要がある。

橋本（勲）議員

最近、放射性廃棄物等の取扱に対する法改正等が頻繁に行なわれているようだが、村に対して事前説明等がなされているのか。

古川村長

放射性廃棄物の取り扱いについての法改正等については事業者から随時情報をもらっている。また、国からは特定放射線廃棄物の最終処分に関する法律の改定について説明を受けている。今後も新しい施設等に係る法律や制度については、勉強会を設けるように要望している。

橋本（勲）議員

県議会の最終処分地拒否に係る一連の条例、担保問題などについて、どのように受け止めているのか。

古川村長

「担保にならない」「選挙のため」「時間稼ぎのため」との報道がある。



写真提供：日本原燃株式会社

それが事実だとすれば、この確約書を信頼し、事業に協力してきた県民・村民が愚弄されたことになる。担当してきた私は全身で怒りをおぼえる。確約書とは約束を果たすことである。

古川村長

確約書は当時の科学技術庁長官から青森県知事に出されたものであり、大変重みのあるものだと思う。拒否条例については県議会の動向を注視したい。

62億5320万8000円

線の認定や災害復旧事業など村長提出議案42件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

平成20年度各会計当初予算の状況

会 計	本年度予算額	前年度予算額	比 較
一 般	103億9000万円	101億7000万円	2億2000万円
国 保	13億2486万円	13億1303万1000円	1182万9000円
老 人 保 健	8231万6000円	8億9274万1000円	▲8億1042万5000円
後期高齢者医療	5584万円	—	5584万円
国保(尾駸診)	5億9633万6000円	5億6333万7000円	3299万9000円
国保(千歳平診)	8596万6000円	8501万4000円	95万2000円
農業集落排水	8370万4000円	8567万3000円	▲196万9000円
下 水 道	19億6595万3000円	18億6805万円	9790万3000円
介 護 保 険	7億7621万8000円	7億5483万7000円	2138万1000円
定 住 促 進	4432万2000円	4432万2000円	0円
土 地 区 画 整 理	4億5116万6000円	5億9093万3000円	▲1億3976万7000円
水 道	3億9652万7000円	4億7702万5000円	▲8049万8000円
合 計	162億5320万8000円	168億4496万3000円	▲5億9175万5000円

下水道特別会計は

下水道南部処理区整備に 7億1800万円
尾駸レイクタウン北地区下水道整備に 7億7600万円

土地区画整理特別会計は

尾駸レイクタウン北地区区画整理に 3億1000万円
尾駸レイクタウン北地区道路整備に 1億2800万円

平成19年度補正予算の概要

会計	補正前	補正額	補正後	おもな内容	
一 般 会 計	105億44万6000円	▲2億9314万5000円	102億730万1000円	地域情報基盤整備事業費 ▲1300万円 障害者自立支援医療費 1928万5000円 畜産担い手育成総合整備事業負担金 ▲1億1719万2000円 漁業被害対策助成金 1200万円 尾駸レイクタウン北側市街地整備事業費 ▲1219万7000円 公営住宅等建設事業費 ▲1310万円 常備消防費負担金 ▲1215万7000円 尾駸小学校整備事業費 4100万円 千歳中学校耐震補強工事費 2500万円 特別会計繰出金 ▲1億866万3000円 財政調整基金積立金 4824万7000円	
国保(事業勘定)	13億3395万5000円	▲2000円	13億3395万3000円	システム改修委託料 68万3000円 特定健康診査等実施計画策定委託料 ▲321万3000円	
国保(尾駸診)	5億5990万3000円	2174万4000円	5億8164万7000円	医薬材料費 2100万円	
国保(千歳平診)	8889万7000円	▲260万6000円	8629万1000円	一般会計繰入金 ▲260万6000円	
農業集落排水	8561万7000円	▲141万7000円	8420万円	施設使用料 ▲82万円 一般会計繰入金 ▲59万7000円	
下 水 道	18億2805万7000円	▲9755万3000円	17億3050万4000円	南部処理区整備事業費 ▲2199万3000円 尾駸レイクタウン北地区整備事業費 ▲6264万7000円	
介 護 保 険	7億7519万9000円	126万円	7億7645万9000円	システム改修業務委託料 126万円	
定 住 促 進	4432万2000円	▲2672万9000円	1759万3000円	土地売払代金 ▲2672万9000円	
土 地 区 画 整 理	5億8700万7000円	▲1630万円	5億7070万7000円	まちづくり整備事業費 ▲1442万8000円	
水 道	収益的支出	2億7302万5000円	▲790万3000円	2億6512万2000円	加圧ポンプ場電気料 ▲200万円 水道施設財産調査等委託料 ▲88万5000円
	資本的支出	2億3840万4000円	▲1843万9000円	2億1996万5000円	配管布設事業費 ▲1843万9000円

自然が彩る豊かな未来を拓く躍進・発展のまちをめざして

平成20年度当初予算が成立

各会計総額は103億9000万円

3月7日から18日まで12日間の会期で3月議会定例会が開催されました。

この定例会では、平成20年度の各会計当初予算、19年度補正予算、条例の制定・改正、村道路
また、議員発議による意見書案2件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

一般会計は 103億9000万円

前年度比2.2%増

地域情報基盤整備に 4億9000万円

老人福祉センター温泉施設改修も

歳入は、自主財源^{※1}の要である村税収入が63億1800万円と全体の60.8%となっており、なかでもサイクル関連固定資産税が54億円と大きな割合を占めています。

歳出は、扶助費に障害者施設訓練支援費等の予算を盛り込んだことから、義務的経費^{※2}が前年度比25.5%増の26億4600万円となっています。

任意的経費^{※3}は77億4400万円で、主な事業は次のとおりです。

地域情報基盤整備（デジタル時代に対応した光ファイバー網の整備やインターネット環境の整備等）に

4億9000万円

たい肥センター建設工事に

2億8600万円

障害者の自立支援のための費用に

1億3500万円

老人福祉センター温泉施設改修に

1億3300万円

猿子沢住宅建設に

1億7200万円

千歳平診療所整備に

6700万円

第二中学校グラウンド整備に

8200万円

学習塾運営に

1800万円

ふれあいセンター（泊地区）整備事業に 1億1100万円



温泉施設がある六ヶ所村老人福祉センター

<一口メモ>

※1 自主財源とは 村税や使用料などのように村が自主的に収入することができるお金を自主財源といい、この割合が多いほど、村は自主的に仕事を行うことができます。

反対に、補助金や交付金など国や県の意思により定められた額が割り当てられて収入するお金や借金のことを依存財源といいます。

※2 義務的経費とは 人件費、扶助費、公債費のことで、支出が義務付けられ、簡単に減らすことができない経費のことです。

※3 任意的経費とは 道路や公園・学校など社会資本を整備するための経費で、将来に残るものに支出される経費です。国から補助金を受けて行う補助事業と、村が単独で行う単独事業などがあります。

子育て支援拡大 入院時医療費 中学卒業まで無料に

条例の制定・改正

六ヶ所村乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例

子育て世代の医療費負担軽減と子育て支援を図るためのもの

六ヶ所村一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例

専門的な知識経験をそなえた人材の活用や期間が限定された行政ニーズに対応するためのもの

六ヶ所村職員の自己啓発等休業に関する条例

職員の大学等での履修や国際貢献活動を可能とする休業制度導入のためのもの

六ヶ所村職員の修学部分休業及び高齢者部分休業に関する条例

職員の大学等での修学と定年前職員の社会貢献活動への従事を可能とする部分休業制度導入のためのもの

六ヶ所村地域情報基盤施設の設置及び管理に関する条例

施設の一部供用開始に伴うもの

六ヶ所村後期高齢者医療に関する条例

後期高齢者医療制度施行に伴い、

村が行うべき事務等を定めるもの

六ヶ所村重度心身障害者医療費助成条例

国の法律改正に伴うもの

六ヶ所村消防団条例

消防体制の充実強化に伴うもの

六ヶ所村が設置する学習塾の利用に係る使用料条例

村が設置する学習塾の使用料を定めるためのもの

六ヶ所村奨学資金貸与条例

奨学資金利用者の利便向上と事務効率化のため、関係条例を整備するもの

六ヶ所村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国の法律改正に伴うもの

六ヶ所村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

国の法律改正に伴うもの

六ヶ所村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

国の法律改正に伴うもの

六ヶ所村企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する

条例

国の法律改正に伴うもの

六ヶ所村職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

保育手当等特殊勤務手当を廃止

するためのもの

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

原子燃料サイクル施設対策協議

会が解散し、新たに六ヶ所村原子

力等エネルギー政策懇話会を設立

したことによるもの

六ヶ所村国民健康保険条例の一部を改正する条例

国の法律改正に伴うもの

六ヶ所村手数料条例の一部を改正する条例

県の事務であった煙火の消費許可に関する事務が村に移ったことにより、手数料を徴収するためのもの

村道路線の認定

室ノ久保前田通り線を村道に認定するもの

農地、農業用施設災害復旧事業

平成19年11月に発生した豪雨災害の復旧を行うためのもの

議員発議

相内宏一議員(建設常任委員長)から発議2件が提出され、審議の結果いずれも原案のとおり可決されました。

道路財源の確保を求める意見書案

一級河川の権限移譲に関する意見書案

事業選択は必要性を精査せよ

高橋（源）議員 過去に何度もサケふ化場の予算を要求しても認められなかったが、今回県が認めない事業に予算計上しているのはなぜか。

戸田副村長 戸鎖の船着場のことかと思うが、県から1年ずつの更新で認可をもらっている。事業については、団体からの要望に基づいて実施している。

高橋（源）議員 サケ稚魚放流等々毎年同じ事業に予算を計上しているようだが、追跡調査等を行っているのか。

服部産業・建設部門理事 実施していなかった。指摘を重く受け止めて対応したい。

健全財政の維持を

橋本（勲）議員 村の財政を将来にわたって健全なものにするために、課税客体を研究し、ガラス固化体等を村税で課税できるようにするべきではないか。

中嶋財政課長心得 現在研究中である。

橋本（勲）議員 東通1号基分の交付金の本村への配分が近隣市町村より少ないのはなぜか。

小泉企画・防災部門理事 隣接の立場からすると応分に配分されてしかるべきと考えるが、県から按分の算式が示されており、甘受せざるを得ない。

農地の有効活用を図れ

鳥山議員 農業総合公社の土地は巨額の金を投じて整備したものの使い勝手が悪い。大幅な予算を組んで整備する気持ちはないのか。

戸田副村長 いろいろ制約がある。今後有効に活用できるよう取り組んでいきたい。

鳥山議員 休耕地を有効活用するため、農作物を作付させるようにできないか。障害者や老人の雇用、地産地消にもつながるのではないか。

戸田副村長 提言は重く受け止めたい。農業委員会の方向性を尊重しながら進めたい。

国際交流 村の考えを示せ

橋本（隆）議員 今年韓国襄陽（ヤンヤン）郡との交流が10周年を迎えるが、今後どのように進めていくのか。

戸田副村長 異文化交流事業でお互いの文化に触れることで、得るものは大きいと思っている。今後どのような形で交流が可能なのか考えていきたい。

新町地区の下水道整備計画を示せ

高橋（文）議員 新町地区は、今後農集排で整備するのか、下水道で整備するのか。

佐々木上下水道課長 合併浄化槽の対象地区になっている。

奨学資金貸与条例 償還免除体制とれないか

償還免除体制とれないか

高橋（文）議員 以前、将来的に奨学生が村に貢献があった場合に、奨学資金償還を免除できないか一般質問したことがあったが、今回の改正に当たってそのことは検討されたのか。

松尾教育長 議論の集約がされなかった部分もあり、今回の改正に盛り込めなかった。今後、協議を重ねてその方向にまとめていきたい。

木村（常）議員 六高生はスクールバスのバス代助成など優遇されている。村外の高校に通う生徒にも同じ奨学金の額では少なすぎる。

松尾教育長 六高については目的に沿った形で援助している。奨学金の1万5千円という額は、いろいろ調べたうえで総合的に判断し設定した。議員の意図するところについては、村長部局と打ち合わせ、前向きに検討したい。

木村（常）議員 滞納が多いと聞いている。申請時に奨学生本人同行にて手続させれば、滞納が減るのではないか。

寺下学務課長 平成19年度から申請者、奨学生本人、保護者に一緒に来ていただき、手続きを行っている。

村外高校通学生に奨学金アップを

口座振替制度導入／償還期間を3年延長

橋本（勲）議員 奨学金制度の主な改正点は何か。寺下学務課長

- ① 奨学金貸与が決定した時点で借用証書を作成する。
- ② 4月1日から口座振替制度を導入する。
- ③ 償還期間を10年から13年に延長し、月額の償還金を低く押さえた。



会派名簿

◎は会長 平成20年5月1日現在

3 月	4日	議会運営委員会
	7日	第2回定例会開会（傍聴人 10人）
	11日	一般質問（傍聴人 20人）
	12日	常任委員会
	13日	特別委員会
	14日	本会議（傍聴人 5人）
	17日	本会議（傍聴人 3人）
	18日	閉会（傍聴人 4人）
4 月	25日	原発議長会サミットAブロック第5回実行委員会
5 月	12日	全員協議会
	15日	郡町村議会議長会役員会・総会
	22日	議会運営委員会
	23日	建設常任委員会
	27日	原発議長会第1回役員会・定期総会

会派名	氏名
六新会 (9人)	◎高田竹五郎 橋本 猛一 橋本喜代二 木村 常紀 三角 武男 種市 敏美 小泉 勉 岡山 勝廣 高橋 文雄
	◎橋本 隆春 松本 光明 小泉 靖美 相内 宏一 附田 義美 古泊 宏 木村 廣正 鳥谷部正行 鳥山 義隆
	◎橋本 勲 高橋 源藏

あなたも議会を傍聴してみませんか

村政を知る良い機会です。

6月議会定例会 会期日程案

一般質問は、6月17日(火)です。

日程は、変更されることがあります。

日程	月日	曜	区分	会議内容
第1日目	6月13日	金	本会議（午前10時）	開会、提出議案上程・説明、委員会付託
第2日目	6月14日	土	休日休会	
第3日目	6月15日	日	休日休会	
第4日目	6月16日	月	休会	議案調査
第5日目	6月17日	火	本会議（午前10時）	一般質問
第6日目	6月18日	水	休会	常任委員会
第7日目	6月19日	木	休会	特別委員会
第8日目	6月20日	金	本会議（午前10時）	議案審議
第9日目	6月21日	土	休日休会	
第10日目	6月22日	日	休日休会	
第11日目	6月23日	月	本会議（午前10時）	議案審議、委員長報告、閉会

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。

臨時会は必要に応じて開催されます。

詳しくは

議会事務局72-2111（内線411または412）へご連絡ください。